

## 中古車銘柄の店舗別滞在時間の比較

株式会社 hands

PERAGARU でオルタナティブデータを提供している中古車販売銘柄について、店舗滞在時間に関する分析を行った。対象銘柄はIDOM (7599) とネクステージ (3186) の2銘柄で、分析には株式会社ブログウォッチャー提供の位置情報データ（許諾を得たユーザからのみ取得）を利用した。

図1はIDOM、ネクステージの1店舗当たりの総滞在時間の推移を、店舗タイプ別にプロットしたものである。同じ店舗規模同士では、ネクステージの店舗のほうが滞在時間が長い傾向がある。特に、2020年以前の大型店舗では大きな差が開いているが、それ以降はIDOMの大型店舗の滞在時間が増加してきており、2022年頃にはネクステージの水準に近づいてきていることが読み取れる。

店舗タイプ別の滞在時間の推移（1店舗当たりの総滞在時間）

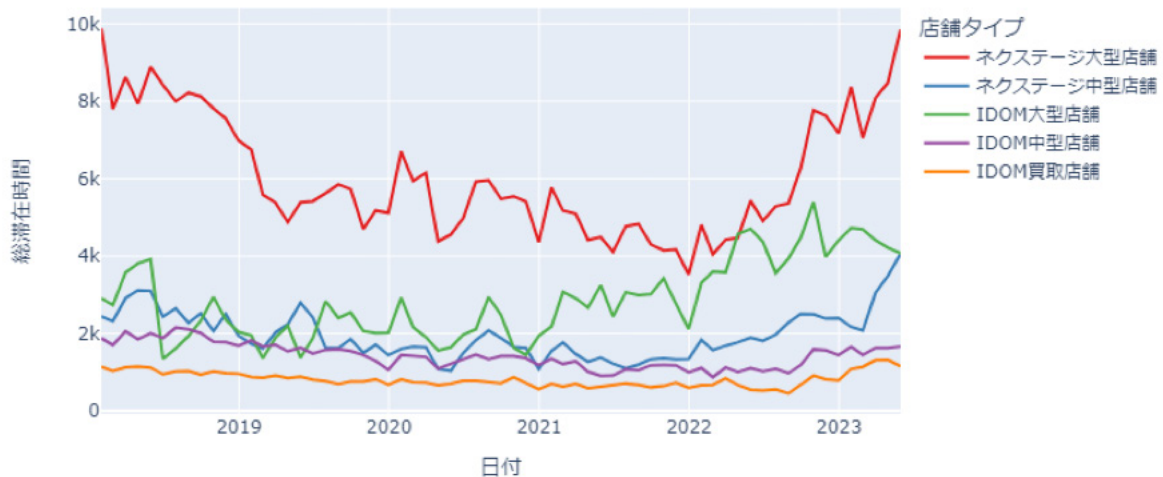


図1 店舗タイプ別店舗総滞在時間の推移

図2は、1店舗当たりの総滞在時間を、2018年1月を1として指数化したものである。ネクステージの店舗、IDOMの中型、買取店舗は2018年1月以降、緩やかな減少トレンドが続いたあと、2022年頃から上昇トレンドに転換しており、似たような傾向を示している。これに対してIDOM大型店舗は、緩やかな減少トレンドのあと、2020年頃から上昇トレンドに転換しており、他の店舗よりも滞在時間の上昇率が大きくなっていることが見てとれる。

このIDOM大型店舗における滞在時間の長時間化は、IDOMのビジネスモデルの転換が影響していると考えられる。IDOMは2020年頃より従来の中型店中心の買取モデルから、大型店中心の小売モデルに転換している。これに伴って大型店では整備、接客などの付帯サービスも充実させており、その影響が滞在時間の長時間化として現れているのではないかと考えられる。IDOMは、2023年以降もさらなる大型店の出店が計画されており、今後の成長が期待される。

店舗タイプ別の滞在時間の推移（2018年1月を1とした指数値）

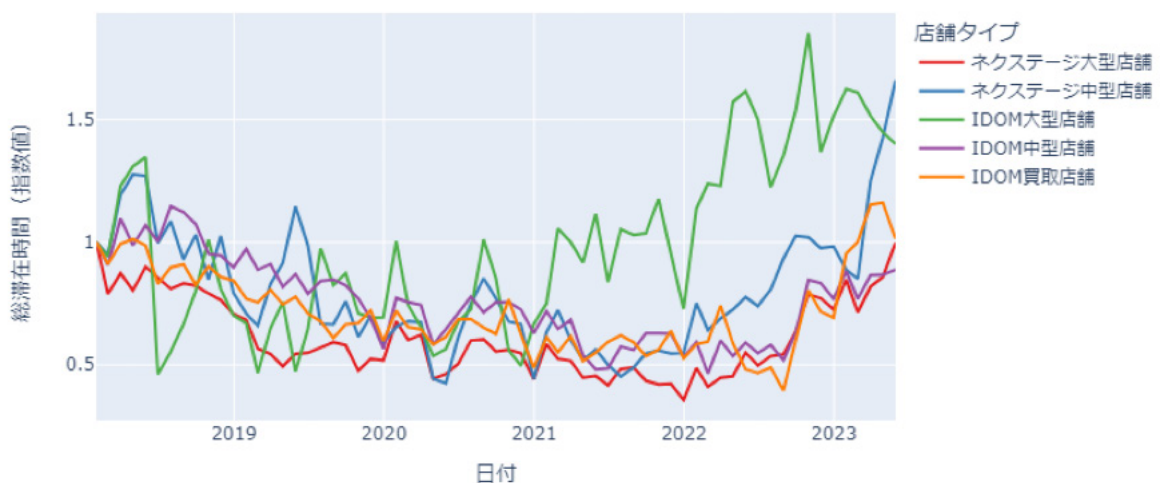


図2 2018年1月を基準とした店舗総滞在時間の推移

## ディスクレーマー

本資料は、(i) お客様自身のための情報であり、投資勧誘を目的としたものではなく、(ii) 証券の売却の申込みあるいは証券購入の勧誘が認められていない地域における当該行為を意図しておらず、かつ (iii) hands に関するディスクロージャー以外は、信頼できると判断されるが hands による独自の確認は行っていない情報源に基づいております。